

6, マキ科の巨木 Podocarpaceae

■マキ科の巨木は以下に分類する。

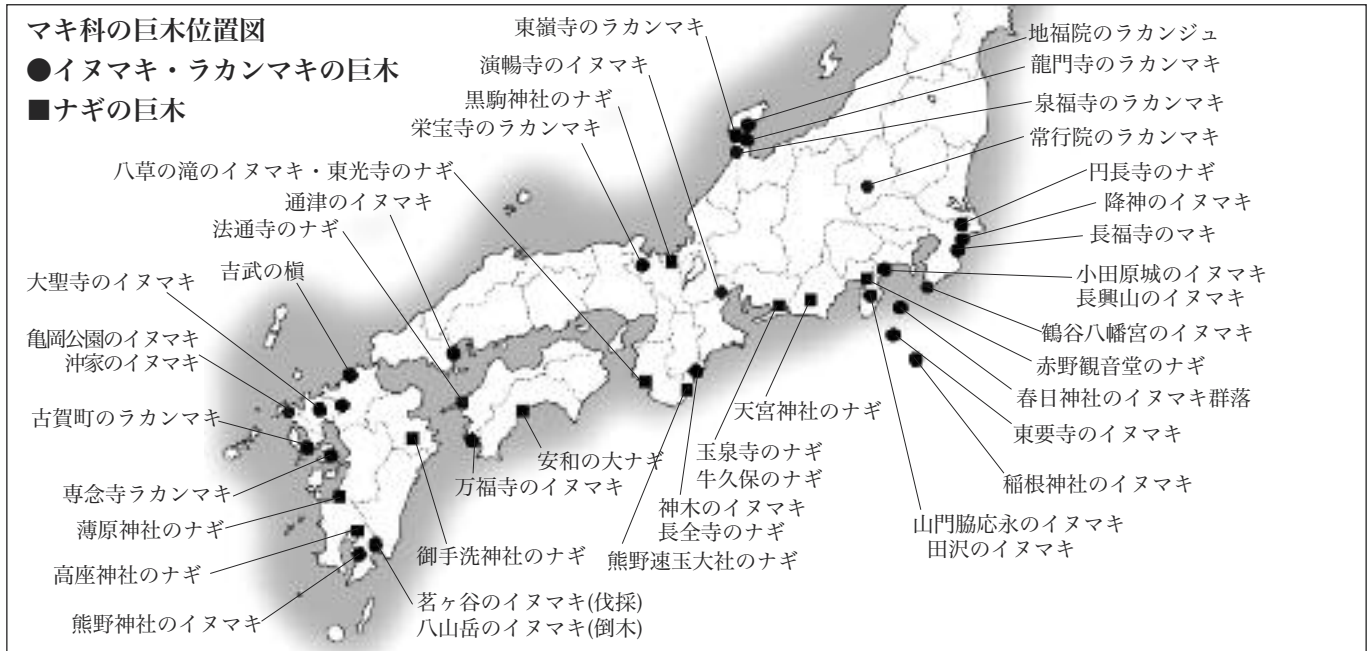
- 6-A イヌマキの巨木
- 6-B ラカンマキの巨木
- 6-C ナギの巨木



イヌマキの葉(右)
ラカンマキの葉(左)

6-A イヌマキ(犬槇)の巨木 マキ科マキ属 Podocarpus macrophyllus

※好まれて寺院等に植えられ、変種で葉が小型のラカンマキがある。実が羅漢様に似る事から羅漢樹ともいわれ、イヌマキもラカンマキと呼ぶ事がある。本書では、実際の樹種調査をして掲載した。



■イヌマキの巨木評価基準

- A 幹周おおむね6m以上の単幹樹、同等評価のイヌマキの巨木。
- B 幹周おおむね4~6mの単幹樹、同等評価のイヌマキの巨木。
- C B評価以下のイヌマキの巨木。

■主なイヌマキの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	神木のイヌマキ 写真 IM-001	M5.91m(1.3m 2012)	20m	三重県南牟婁郡御浜町神木	県
B	大聖寺のイヌマキ 写真 IM-002	M6.6m(分岐 0.2m 2012)	14m	佐賀県武雄市北方町大崎	県
B	熊野神社のイヌマキ 写真 IM-003	6.8m	25m	鹿児島県鹿屋市新生町	市
B	亀岡公園のイヌマキ(最大株) 写真 IM-004	5.5m	20m	長崎県平戸市岩の上町	県
B	東要寺のイヌマキ 写真 IM-005	5.1m	23m	東京都新島村式根島白川	都
B	通津のイヌマキ 写真 IM-006	5.4m(ノウゼンカヅラ含む)	16m	山口県岩国市通津 1743 大歳神社	県

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	春日神社のイヌマキ 写真 IM-007	5.5m	5m	東京都大島町差木地	都
B	長福寺の榎 写真 IM-008	M4.8m(1.3m 2015)	10m	千葉県いずみ市下布施	県
B	龍門寺のラカンマキ 写真 IM-009	M4.6m(1.3m 2008)	22m	石川県七尾市小島町	市
B	沖家のイヌマキ 写真 IM-010	4.9m	18m	長崎県平戸市鏡川町	市
B	小田原城跡のイヌマキ 写真 IM-011	4.5m	20m	神奈川県小田原市城内6-1	市
B	八草の滝のイヌマキ 写真 IM-012	4.5m	13m	和歌山県西牟婁郡白浜町久木	なし
B	万福寺のイヌマキ(最大株) 写真 IM-013	4.3m	20m	愛媛県南宇和郡愛南町深浦	県
B	鶴谷八幡宮のイヌマキ 写真 IM-014	M4.3m(1.3m 2015)	16m	千葉県館山市八幡	なし
B	吉武の榎 写真 IM-015	4.2m	21m	福岡県宗像市吉武	県
B	演暢寺のイヌマキ 写真 IM-016	4.0m	13m	三重県いなべ市大安町石樽南	なし
B	稲根神社のイヌマキ 写真 IM-017	M4.11m(1.3m 2012)	18m	東京都小笠原村父島	なし
B	山門脇応永のイヌマキ 写真 IM-018	4.68m	15m	静岡県伊豆市市山234-1	市
C	常行院のラカンマキ 写真 IM-019	M2.8m(1.3m 2015)	18m	群馬県高崎市吉井町長根	県
C	長興山のイヌマキ 写真 IM-020	M3.5m(1.3m 2010)	20m	神奈川県小田原市入生田紹太寺	なし
伐採	茗ヶ谷のイヌマキ 写真 IM-021	4.5m	20m	鹿児島県志布志市茗ヶ谷	
倒木	八山岳のイヌマキ 写真 IM-022	4.4m	16m	鹿児島県肝属郡錦江町馬場	



◀写真 IM-001 日本一のイヌマキ

神木のイヌマキ

幹周の数字だけで言うと、鹿児島県「熊野神社のイヌマキ」幹周 6.8m が日本一になる。ところが、主幹は空洞化、半壊していて論外。幹周 5m 台が 11 本あり、その内大きなイヌマキで、幹周 5.5m 前後のイヌマキが 3 本ある。

- 佐賀県「大聖寺のイヌマキ」幹周 5.5m。見事なイヌマキで、根元近くで細い幹が分岐、2m で 3 分岐の樹形。
- 東京都大島「春日神社のイヌマキ」幹周 5.5m。
- 三重県「神木のイヌマキ」幹周 5.4m。

この内日本一と称しているのが「大聖寺のイヌマキ」で、二位と称しているのが「神木のイヌマキ」である。2012 年、神木のイヌマキを調査すると、幹周 5.91m あることが判明した。よって、このイヌマキが日本一に躍り出た。

地上 4m で 5 分岐するまでまっすぐに立上がる単幹の見事なイヌマキである。これ程の巨木であるにもかかわらず樹勢はよく、下部の枝は垂れる。主幹は縦に波打ち、黒々として重量感溢れる。現地では字名「西地」から、「西地のイヌマキ」と呼ばれている。一見して日本一と確信を持つ見事な樹形である。根元には「狩かけ宮」という意味不明の石が置かれ、古くから信仰の対象になっていた事を伺わせる。



▲写真 IM-002
だいしろうじ
大聖寺のイヌマキ

背後が崖なので、巻尺を回せず、手前半分を測定して2倍する。巨木DBの5.5mは、主幹と側幹の合計周。主幹は幹周4.4mで、M式では、根元近くを測定し、分岐表記となる。



▲写真 IM-005
とうようじ
東要寺のイヌマキ
(写真・Web画像)

▼写真 IM-008
ちようふくじ まき
長福寺の榎
(写真・Web画像)



▼写真 IM-009
りゅうもんじ
龍門寺のラカンマキ

寺の中庭に立ち、振り上がるような主幹は実に豪快な雰囲気がある。



▲写真 IM-003
くまの
熊野神社のイヌマキ
(写真・石田徹)



▲写真 IM-004
亀岡公園のイヌマキ(最大株)
(写真・石田徹)



▲写真 IM-006
つづ
通津のイヌマキ
巨大なノウゼンカヅラが絡まっていて、幹周は0.6m。7月には花盛りになる。
(写真・Web画像)



▲写真 IM-007
春日神社のイヌマキ
イヌマキの群落があり、最大株は台風で破損した。
(写真・Web画像)



▲写真 IM-010
沖家のイヌマキ
(写真・石田徹)



▲写真 IM-011
小田原城跡のイヌマキ
(写真・Web画像)



▲写真 IM-012
八草の滝のイヌマキ
(写真・石田徹)



▲写真 IM-013
万福寺のイヌマキ
(写真・石田徹)



▲写真 IM-014
鶴谷八幡宮のイヌマキ
一段高い台座の上に立つ。



▲写真 IM-015
吉武の榎
八所宮の入口辺り、竹林の中に立つ。2mで5分岐、雄大に枝葉を広げる。(写真・Web 画像)



▲写真 IM-016
演暢寺のイヌマキ
(写真・石田徹)



▲写真 IM-017
稲根神社のイヌマキ
御蔵島・里集落の最上部に神社があり、社の右手に立つ。根元が大きく広がり安定感がある。



▲写真 IM-018
山門脇応永のイヌマキ
明徳寺境内前に立つ。
(写真・Web 画像)



▲写真 IM-019
常行院のラカンマキ
樹種はイヌマキである。



▲写真 IM-020
長興寺のイヌマキ
長興寺のシダレザクラ近くに立つ。



▲写真 IM-021
伐採・茗ヶ谷のイヌマキ
(写真・Web 画像)



▲写真 IM-022
倒木・八山岳のイヌマキ
(写真・Web 画像)

6-B

ラカンマキ(羅漢楨)の巨木

マキ科マキ属

Podocarpus macrophyllus var. maki

■ラカンマキの巨木評価基準

A 幹周おおむね5m以上の単幹樹、同等評価のラカンマキの巨木。

B 幹周おおむね3~5mの単幹樹、同等評価のラカンマキの巨木。

C B評価以下のラカンマキの巨木

■主なラカンマキの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	栄宝寺のラカンマキ 写真 RM-001	M4.73m(1.3m 2015)	15m	京都府綾部市星原町南谷 16	なし
B	地福院のラカンジュ 写真 RM-002	M4.52m(1.3m 2010)	12m	石川県穴水町中居	町
B	古賀町のラカンマキ 写真 RM-003	3.9m	10m	長崎県長崎市松原町 2509	なし
B	関のラカンマキ 写真 RM-004	3.8m	10m	千葉県長生郡白子町関 1828-1	県
B	泉福寺のラカンマキ 写真 RM-005	M3.78m(1.3m 2015)	15m	石川県鹿島郡中能登町芹川	町
B	宝徳寺のラカンマキ 写真 RM-006	M3.72m(1.3m 2015)	15m	福井県三方上中郡若狭町気山 194-2	町
B	東嶺寺の羅漢樹 写真 RM-007	M3.66m(1.3m 2010)	11m	石川県七尾市田鶴浜町二部	なし
C	茂林寺のラカンマキ 写真 RM-008	M2.88m(1.0m 2015)	12m	群馬県館林市堀江町 1570	市
半壊	専念寺のラカンマキ	3.3m	13m	長崎県南島原市有家町 有川邸	なし



▲写真 RM-001 日本一のラカンマキ
栄宝寺のラカンマキ
高台にある無住寺院の前に立つ。



▲写真 RM-002
地福院のラカンジュ

見晴らしのよい高台にある無住寺院の境内に立つ。主幹内部に仏像が安置されている珍しい巨木。



▲写真 RM-003
古賀町のラカンマキ
(写真・Web 画像)

写真 RM-004▶
関のラカンマキ
(写真・Web 画像)





▲写真 RM-005

せんぶくじ
泉福寺のラカンマキ



▲写真 RM-006

ほうとくじ
宝徳寺のラカンマキ



▲写真 RM-007

とうらいじ
東嶺寺の羅漢樹



▲写真 RM-008

もりんじ
茂林寺のラカンマキ

6-C ナギ(柵)の巨木

マキ科マキ属 Podocarpus nagi

■ナギの巨木評価基準

- A 幹周おおむね 5m 以上の単幹樹、同等評価のナギの巨木。
- B 幹周おおむね 3~5m の単幹樹、同等評価のナギの巨木。
- C B 評価以下のナギの巨木

■主なナギの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	熊野速玉大社のナギ 写真 NG-001	5.0m	20m	和歌山県新宮市新宮一番地	国
B	御手洗神社のナギ 写真 NG-002	株周 5.8m	18m	大分県豊後大野市三重町上田原 945	県
B	高座神社のナギ 写真 NG-003	4.34m	25m	鹿児島県霧島市国分川原	県
B	円長寺のナギ 写真 NG-004	M4.2m(1.3m 2015)	11m	千葉県匝瑳市野手	市
B	天宮神社のナギ 写真 NG-005	4.0m	10m	静岡県周智郡森町天宮 576	県
B	玉泉寺のナギ 写真 NG-006	M3.84m(1.3m 2010)	16m	愛知県豊橋市石巻町字寺前	市
B	薄原神社のナギ	3.9m	25m	熊本県水俣市薄原 1097	県
B	東光寺のナギ 写真 NG-007	3.7m	22m	和歌山県日高郡印南町印南	県
B	赤野観音堂のナギ	3.7m	13m	静岡県沼田市柳沢	市
B	牛久保のナギ 写真 NG-008	3.5m	20m	愛知県豊川市下長山	国
B	長全寺のナギ	3.5m	15m	三重県熊野市紀和町長尾	町
B	法通寺のナギ	3.5m	18m	愛媛県西宇和郡伊方町中浦甲 692	県
B	安和の大ナギ 写真 NG-009	3.4m	25m	高知県須崎市安和本谷 安和地藏堂	県
B	黒駒神社のナギ 写真 NG-010	M3.3m(1.3m 2007)	24m	福井県小浜市西勢	県



◀写真 NG-001 日本一のナギ

くまのはやたまたいしや
熊野速玉大社のナギ

ナギは成長の遅い樹木で、幹周3m程でも樹齢400年ともいわれ、それ以上になると樹齢600年ともいわれる。熊野速玉大社のナギにいたっては樹齢1000年といわれ、幹周12m程の杉に匹敵する。

熊野速玉大社は、熊野那智大社、熊野本宮大社とともに熊野三山の一つ。これらの大社を中心にした熊野信仰が最も栄えたのが11世紀で、平安末期から鎌倉時代の事である。このナギは、1159年(平治元年)熊野三山造営奉行の平重盛が社殿の落成記念として植えたといわれている。すでにかなりの大きさであったと考えられることから、樹齢1000年は的外れな数字ではない。



◀写真 NG-002

みたらい
御手洗神社のナギ

根元上部で数本に分岐する樹形。
(写真・石田徹)



◀写真 NG-004

えんちようじ
円長寺のナギ



写真 NG-003▶

たかくら
高座神社のナギ

(写真・Web画像)

◀写真 NG-005

あまのみや
天宮神社のナギ

(写真・谷田元彦)



写真 NG-006▶

ぎよくせんじ
玉泉寺のナギ



▼写真 NG-008

うしくぼ
牛久保のナギ

(写真・石田徹)

▼写真 NG-009

あわ
安和の大ナギ

(写真・Web画像)



▼写真 NG-010

くろこま
黒駒神社のナギ



▲写真 NG-007

とうこうじ
東光寺のナギ

(写真・石田徹)